

林 業由子

(横芝地区)

私たちの中には、すでに社会に身をおく者、今年社会に駆け出す者、また学びを求める者とそれぞれで、成人したことに對する思い入れや意識をする場面が様々なため、気持ちの面では今までとなんら変わらない日々を過ごしていた人も少なくないように思います。しかし、このように式典へ参加することによって改めて、自分にできることが増えたことや、負わなければならない責任や義務の大きさ、重さを実感することができました。

例えば選挙権。今までは町の防災行政無線を通して報告される投票率や結果さえ気にすることなく聞き流す程度でしたが、これからは私たちもその一票を持つことになり、その一票がこれからの社会を決めるのだと思うと他人ごとではなくなりました。



私たちは社会の中心となつて

誓いのことば

鈴木 健一

(光地区)

活躍できるようになったとき、何事においても良いところは引き継ぎ、更に伸ばし、改善すべきところは徹底して改善できるように、しっかりと今を見つめていきたいと思えます。また、成人として恥ずかしくないような言動を心がけ、一度しかない人生を精一杯生きていき、自分たちの夢を叶えたいと思えます。



私は今、大学通学のためにこの横芝光町を離れ一人で生活しています。一人暮らしを始めたころは両親と離れ急に頼る人がいなくなつてしまつたうえに、不慣れなことが多く不安ばかりでした。また、友人とも離れ、寂しさも感じていました。そうして改めて、自分が一人で生きていくわけではなく、両親や友人など多くの人に支えられて生きていくことを改めて実感しました。

大学では工学を専攻し、機械の設計や材料の性質などについて学んでいます。将来は、今学んでいる知識を活かせる職業に就きたいと考えています。そのため、専門的知識をさらに深めていきたいと思えます。

また、これから社会的な責任が増えてきます。私は今すぐ社会に出るわけではありませんが、もう周りからは一人の大人として見られるのだということを感じて、自分の行動に自信を持つて、成人として恥ずかしくないように頑張つていきたいです。

残り二年となつた大学生活で自分を見つめ直し、さらにいろいろなことを学び、自分を高め、いつ社会にでてでもいいように準備をしていきたいと思えます。